

川崎市からのお知らせ

高齢者支援事業について

「わたしの町のすこやか活動支援事業」をご存知ですか？

高齢者が心身に障害が生じても、地域で生き生きと暮せるよう、健康づくりや介護予防、閉じこもり防止の活動（「すこやか活動」）を、町会等と連携して地域ぐるみで取り組んでいる団体に対して助成する事業を実施しております。

平成13年度の助成団体はすでに決定済です。平成14年度の助成団体の申請受付は市政だよりでお知らせいたします。

平成12年度「わたしの町のすこやか活動支援事業」の事例集を、区役所長寿支援課、支所地区福祉センターに置いてありますので、ご覧ください。

老人いこいの家（長寿ケアホーム）

老人いこいの家は、地域の健康な高齢者のふれあいや生きがいの場としての機能に加え、虚弱な高齢者を地域で支え合い、助け合っていくための福祉活動の拠点機能を併せもつ施設です。（市内46か所）

各老人いこいの家の運営は、地元の社会福祉協議会が行なっています。

開館時間：午前9時～午後4時

休館日：日曜日、国民の祝日（9月15日は除く）および年末年始

利用方法：個人で利用する場合は、老人いこいの家においてある老人いこいの家使用簿に記入のうえ、利用してください。また、団体で利用する場合は、事前に予約して利用してください。

問合せ：（福）川崎市社会福祉協議会

川崎市川崎区日進町5-1
電話 044(233)1907

高齢者ふれあい型デイサービス

要介護認定において非該当と認定された高齢者に対し、介護保険給付に代わって、川崎市独自に、学校施設や老人いこいの家等において、通所による各種サービスを提供し、閉じこもり等による状態悪化の予防や自立した生活を確保するための生活支援を図ります。

（1）学校施設活用型デイサービス

学校施設を改造したデイサービスセンターにおいて、食事、日常動作訓練、送迎等のサービスを実施します。

〔問合せ〕

1. 川崎小学校ふれあいデイサービスセンター
電話・FAX 044(244)1501
2. 河原町小学校ふれあいデイサービスセンター
電話・FAX 044(541)1200
3. 玉川小学校ふれあいデイサービスセンター
電話・FAX 044(543)6768
4. 有馬小学校ふれあいデイサービスセンター
電話・FAX 044(871)1566

（2）デイセンター事業

地域の公衆浴場を活用、月2回程度実施します。

〔問合せ〕

- 美和の湯（川崎区渡田） 電話 044(333)1821
亀の湯（川崎区観音） 電話 044(288)4424
燕湯（川崎区小田） 電話 044(333)2731
千年湯（高津区千年新町） 電話
044(766)6240

（3）ふれあい活動支援事業

地域の市民館や老人いこいの家等で、高齢者向けに、会食や配食、ミニデイサービスを行なっている地域の福祉団体等に助成しています。

〔問合せ〕

川崎市社会福祉協議会 電話
044(233)7948

（4）公衆浴場活用型ふれあい支援事業

会食やミニデイサービスを行なっている団体に対し、地域の公衆浴場を週1回開放し、活動場所を提供するとともに、浴場を活用して通常の活動以外に入浴サービスを実施します。

〔問合せ〕

高齢者いきがい課 電話 044(200)2638

高齢者情報誌『楽笑』発刊にあたって

21世紀を迎え、いよいよ高齢社会となってまいりました。御承知のように、西暦2025年には、人口の4分の1が65歳以上の高齢者となるという超高齢社会を迎えるなど、まさに、高齢者中心の時代となるとされており。

高齢者の9割近くは、元気で自立した生活を送られていると言われており、こうした方々の多くは、生涯にわたり、生きがいをもって暮したい、あるいは、地域活動に参加したいなどの願いをお持ちになっております。

高齢者が年齢にとらわれず、自らの責任と能力において、地域というステージで自由に生き生きとした生活をおくれるよう、これまでの経験や能力を十分生かしていく「生涯現役社会」の仕組みを創っていくことが、21世紀の豊かな高齢社会へと発展させていく際の大変重要な課題であると考えております。

高齢者の方々は、老人クラブ活動や健康や生きがい増進のためにシルバー人材センターを通じて仕事をこなしたり、あるいは生涯学習などをされています。

また、最近では、企業を定年退職された方がホームヘルパーやボランティア講座などを受講され、仲間と一緒に、地域活動をされている事例も各地で見られるようになりました。

このような状況の中で、川崎市では、生涯現役対策事業として「シルバー人材・いきいき相談窓口の設置」「シニアリーダーの養成講座の開催」「インターネットによる情報スペース『生涯現役クラブ』の設置」など実施してまいりました。

生涯現役社会づくりの目的は、多様で個性的な高齢者の生きがいと社会参加を支援するものであり、この目的を達成するためには、行政や関係機関・団体ばかりではなく、高齢者を含めた市民各層の協働の活動として、地域に広く浸透させていく必要があります。

このためには、まずは、高齢者のさまざまな情報を皆様に発信していくことが必要であるとのことで、このたび、高齢者情報誌の発行をすることとなりました。

この冊子をお読みいただき、高齢者の皆様の生きがいづくりや社会参加のきっかけとなっただければ幸いです。

川崎市健康福祉局長 石野 厚



情報提供のお願い

『楽笑』は、60歳以上のシニア世代の方々から発信された情報を中心に構成されています。次号 No.2 では、次の5つの事柄をみなさまに募集いたします。

1. 青春プレイバック～わたしの心に残る映画（1つ・本誌14ページ参照）
青春時代に観た最も心に残っている思い出の映画とそれにまつわるエピソード
2. シニアズの知恵袋・「再利用」編（いくつでも・本誌8ページ参照）
廃品や不要品などの暮らしに役立つ再利用法
3. わたしのおすすめの店（業種は問いません。いくつでも）
川崎市内にあるおすすめの店とその理由（店の住所・電話番号をそえて）
4. わたしの健康法（いくつでも・本誌13ページ参照）
普段おこなっているあなたの健康法
5. シニアズのつぶやき（本誌18ページ参照）
あなたが日頃思っていること、考えていること、社会に対する提案など

1～5の情報（その内の1つでも構いません）をはがき・FAX・E-mailのいずれかで上記「生涯現役支援センター」楽笑係に2月15日（金）まで必着。
必ず氏名（ペンネーム、イニシャル可）・年齢・お住まいの区名をご記入ください。